

令和 8 年度新規採択希望

県 営 た め 池 等 整 備 事 業
(大規模)

土 地 改 良 事 業 計 画 書

迫田大池 地区

広 島 県

第1章 目 的	1	第3節 老朽ため池改修計画	10
		1. 洪水吐改修計画	11
		2. 堤体補強計画	12
第2章 地域及び地積	1	第5章 主要工事計画	13
第1節 地 域	1	第1節 老朽ため池改修施設	13
第2節 地 積	1	1. 貯水池	13
		2. 堤体補強施設	13
第3章 現 況	2	第6章 附帯工事計画	13
第1節 気象及び海象	2	第7章 工事の着手及び完了の予定時期	14
1. 一般気象	2	第8章 環境との調和への配慮	15
2. 特殊気象	2	第9章 事業費の総額及び内訳	15
3. 海 象	3	1. 総括表	15
		2. 工事費内訳表	16
第2節 土地状況	3	第10章 効 用	17
1. 地形、土壌及び侵食の程度	3	第11章 関連する事業	17
2. 土地利用の状況	4	第12章 現況 計画図面	17
3. 土地所有の状況	4		
第3節 水利状況	5		
1. 用水状況	5		
第4節 地域環境の概況	6		
第4章 一 般 計 画	7		
第1節 事業計画の要旨	7		
1. 要 旨	7		
2. 事業別面積	8		
第2節 用水計画	8		
1. 計画基準年	8		
2. 計画かんがい方式	8		
3. 計画用水系統	8		
4. 計画用水量	8		
5. 水源計画	9		

第1章 目 的

(1) 必 要 性

本ため池は、江田島市能美町中町一帯の農地をかんがいするため池である。平成28年度ため池耐震診断調査により、地震時における堤体上下流法面の安定性が確保されていない結果となっており、堤体決壊の危険にさらされている。よって、堤体の安全性を確保するため、本ため池は早急な改修を要する。本ため池の整備を行うことにより、その安全性とため池の持つ本来機能である農業用水の確保を図る。

(2) 緊 急 性

平成28年度ため池耐震診断調査により、地震時における堤体上下流側法面の安定性が確保されていない結果となっており、堤体決壊の危険にさらされた状態である。よって、受益農家及びため池下流側住民の安全安心の確保と、ため池決壊による被害を未然に防止するため、緊急な耐震対策工事を実施しなければならない。

第2章 地域及び地積

第1節 地 域

(第1表)

事業名	地 域
県営ため池等整備事業	江田島市能美町中町

2 地 積

(令和 7 年 8 月現在) (第2表)

事業名	現況地目	田 (ha)	畑 (ha)	樹園地(ha)	原野(ha)	山林(ha)	道水路敷 (ha)	その他 (ha)	計	備 考
	市町村名									
県営ため池等整備事業	江田島市	1.1	2.7	—	—	—	—	—	3.8	
	計	1.1	2.7						3.8	

第3章 現況

第1節 気象及び海象

1 一般気象

(第3表-1)

観測所名	広島	かんがい期	非かんがい期	計又は平均	備考
観測期間	1961年～2023年	5月～9月	10月～4月		
平均気温		23.9℃	10.1℃	15.9℃	最近10ヵ年 16.9℃
降水量	平均	978.0mm	590.8mm	1568.8mm	最近10ヵ年 1718.4mm
	基準年	mm	mm	mm	年
降水日数	平均	46日	49日	95日	観測期間 1976年～2023年
	基準年	日	日	日	年
根雪期間		-月-日～-月-日-日間			-月-旬
無霜期間		-月-日～-月-日-日間			
最多風向		北北東	最大風速 (風向)	27.0 m/s (西南西)	最多風向発生時期 9月～6月 最大風速発生年月日 1955年1月30日

2 特殊気象

(第3表-2)

観測所名	呉	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			備考
		数量 mm	年月日	発生 確率	数量 mm	年月日	発生 確率	数量 mm	年月日	発生 確率	数量 mm	年月日	発生 確率	数量 mm	年月日	発生 確率	
観測期間	S.26年～R.5年																
最大日雨量 (mm)	205.0	H17.9.6	52.6	199.0	S47.8.20	42.5	195.0	H30.7.6	36.8	186.0	H11.6.29	26.8	176.0	S40.6.19	18.8		
最大時間雨量 (mm)	70.0	H11.6.29	230.5	52.0	H30.7.6	20.2	50.0	H3.7.12	15.6	49.0	H21.7.24	13.7	46.0	H25.7.4	9.4		
最大4時間雨量 (mm)	161.0	H11.6.29	92.1	123.0	H4.8.8	20.8	123.0	H21.7.24	20.8	118.0	H30.7.7	17.0	117.0	S56.7.3	16.3		
最大連続雨量 (mm)	498	R3.8.11～ 8.20	-	483.0	S60.6.21～ 6.30	-	470.5	H30.7.5～ 7.8	-	419.0	S54.6.26～ 7.4	-	383.5	R2.7.3～ 7.16	-		
最大連続干天日数 (日)	68	H22.7.17～ 9.22	172.7	52	H16.1.1～ 2.21	29.3	51	S29.10.7～ 11.26	26.1	51	S35.1.17～ 3.7	26.1	51	R2.11.3～ 12.23	26.1		

3 海 象

該当なし

(第3表-3)

観測所名	観測期間	既往最高潮位	さく望平均満潮位	上下弦平均満潮位	平均潮位	上下弦平均干潮位	さく望平均干潮位	既往最低潮位	備 考	
実 測 値	()									

第2節 土地状況

1 地形、土壌及び侵食の程度

(第4表-1-1)

事業名	地 目	田						畑 そ の 他						受益地標高(m)		備 考		
		傾 斜 区 分	1/1,000 以下	1/1,000 ~ 1/100	1/100 ~ 1/20	1/20 ~ 1/11.5	1/11.5 以上	計	3° 以下	3° ~ 8°	8° ~ 15°			15° ~ 20°	20° 以上		計	最 高
等 県 整 営 備 備 事 業 池	面積(ha)			1.1			1.1	2.7							2.7	50 m	6 m	
	比率(%)			100			100	100.0							100			

(第4表-1-2)

項 目	土 壤 統 区 区 分 一 覧 表										面 積 (ha)			備 考			
	土 壤 断 面										事 業 名						
	色	腐 食	礫 層	酸 化 沈 殿 物	土 性				泥炭層、黒泥層およびグライ層	堆積様式	母 材	ため池等整備事業	計				
					表 土	下 層		土									
土壌統(区)名					1層	2層	3層	...									
-																	土壌統番号
計																	

2 土地利用の状況

(令和 7年 8月現在) (第4表-3)

事業名	土地利用別 市町村名	耕 地							山 林		採草 放牧地 (ha)	原野 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
		水 田 (ha)		普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	その他 樹園地 (ha)	用材林 (ha)	薪炭林 (ha)					
		1毛作田	2毛作田以上												
県営ため池等整備事業	江田島市	1.1		2.7									3.8		
	計	1.1		2.7									3.8		
合 計		1.1		2.7									3.8		

3 土地所有の状況

(令和 7年 8月現在) (第4表-4)

事業名	所有別 区分	50a以下	50a～100a未満	100a以上	計	備 考
		面積 (ha)	3.8			
県営ため池等整備事業	受益者数 (人)	27			27	
	筆 数 (筆)	77			77	
	権 利 関 係	自作				
	備 考 (関係戸数)	(27)			(27)	

第3節 水利状況

1 用水状況

(1) 用水系統

迫田大池 → A = 3.8ha
 貯水量 21.5(千m³) 取水量 = 0.028(m³/s)

(2) 用水施設

(ア) 取水方法一覧表

(第5表-1)

事業名	項目 施設名	かんがい面積						計		水利権		慣行水利権		延べ 取水量	備考
		20 ha以上		1 ~ 20 ha		1 ha以下		個所	ha	個所	m ³ /s	個所	m ³ /s	m ³ /s	
		個所	ha	個所	ha	個所	ha								
県営ため池等整備事業	貯水池			1	3.8			1	3.8			1	0.028	0.028	
	井堰														
	自然取入口														
	揚水機														
	その他														
	計			1	3.8			1	3.8			1	0.028	0.028	
合計			1	3.8			1	3.8			1	0.028	0.028		

(イ) 改修を要する施設一覧表

(第5表-2)

事業名	項目 施設名	施設名 又は箇所数	受益面積 (ha)		構造	規模	新設年 又は 更新年	改修を必要 とする理由	備考			河川名
			全体	関係分					管理者	当該施設の築造		
										事業名	経過年数	
県営ため池 等整備事業	貯水池	迫田大池	3.8	3.8	均一型	堤高 8.2 m 堤長 125.0 m	明治43年	地震時における堤 体法面の安定性が 確保されていない。	■■■■■	-	115	迫田川

(3) ため池等施設決壊の場合の被害状況

(第5表-3)

事業名	想定被害面積 (ha)				想定被害額 (千円)						備考
	水田	畑	その他	計	作物	農地	農業用施設	公共施設	家屋その他	計	
合計	3.1	1.3	13.1	17.5	3,106	40,805	59,479	243,804	9,100,486	9,447,680	人命 326 人

第4節 地域環境の概要

本地域は、江田島市の西部に位置し、迫田川沿いに広がる農振農用地区域である。

気象は年間を通じて降水が比較的少なく温暖な瀬戸内海性気候である。

地質は、基盤岩として広島花崗岩類に属する黒雲母花崗岩および角閃石黒雲母花崗岩が分布しているが、

西能美島山地の山頂部においては、中生代ジュラ紀の玖珂層群がルーフペンダントとして取り残された形で分布する。

第4章 一般計画

第1節 事業計画の要旨

1 要旨

項目	事業を必要とする理由	改修補強工法
取水施設	斜樋： - 緊急放流施設： - 底樋： -	斜樋： - 緊急放流施設： - 底樋： -
洪水吐	-	-
堤体または基礎からの湧水状況	-	-
堤体	地震時における堤体法面の安定性が確保されていない。	前法面： 二重鋼矢板工法 後法面：

2 事業別面積

(第8表)

事業名 土地利用 区分 事業目的	た め 池 等 整 備 事 業						備 考
	田 (ha)	普 通 畑 (ha)	放 草 畑 (ha)	果 樹 園 (ha)	そ の 他 (ha)	計 (ha)	
ため池改修	1.1	2.7				3.8	
計	1.1	2.7				3.8	

第2節 用 水 計 画

1 計画基準年

—

2 計画かんがい方式

自然流下方式

3 計画用水系統

現況用水系統と同じ

4 計画用水量

現況用水量(Q=0.03m³/s)と同じ

5 水源計画

(1) 用水対策

(ア) 貯水池

(第10表-3)

項目 貯水池名	流域面積 (km ²)		かんがい面積 (ha)	純貯水量 (千m ³)	利用貯水量 (千m ³)	利用回数 (回)	最大取水量 (m ³ /s)	備 考
	直 接	間 接						
迫田大池	0.309	-	3.8	21.5	21.5		0.028	

(イ) 井堰および自然取入 該当なし

(第10表-4)

項目 取水施設名	河川名 (河川指定)	流域面積 (km ²)	かんがい面積 (ha)			取水量 (m ³ /s)		渇水量 (m ³ /s)	備 考
					計	最 大	平 均		
-	-	-	-	-	-	-	-		

(ウ) 用水路 該当なし

(第10表-6)

項目 名称	かんがい面積 (ha)			最大通水量 (m ³ /s)	延 長 (km)	構 造	備 考
			計				
-	-	-	-	-	-	-	

第3節 ため池改修計画

総括表

名称		迫田大池				位置	江田島市能美町中町					
堤		形式	堤高	堤長	堤頂幅	堤体積	総貯水量	有効貯水量	堤頂標高	満水面標高	満水面積	有効貯水量 /総貯水量
	現況	均一型	8.2 m	125.0 m	3.9 m	15.6 千m ³	21.5 千m ³	21.5 千m ³	71.10 m	69.25 m	0.70 ha	1.00
	計画	均一型	8.2 m	125.0 m	3.9 m	15.6 千m ³	21.5 千m ³	21.5 千m ³	71.10 m	69.25 m	0.70 ha	1.00
		法面勾配		法面保護工			備考					
	現況	上流 1 : 2.1 下流 1 : 1.9	上流: 張ブロック 下流: 張芝									
計画	上流 1 : 2.1 下流 1 : 1.9	上流: 張ブロック 下流: 張芝										
洪水吐		形式	構造	洪水吐能力	越流水深	越流堤長	敷標高	ゲート	計画雨量	流出率	計画洪水量	
	現況	越流堰式	鉄筋コンクリート	2.270 m ³ /s	0.40 m	4.2 m	EL m -	巾 - m 高 - m	mm/hr -	% -	2.270 m ³ /s	
	計画	既設利用										
取水施設		斜樋又は堅樋			底樋			取水量	地質	基礎処理	仮排水工	流域面積
		形式	径	長さ	形式	径	長さ					
	現況	(取水孔)	(100)	(-)								
	計画	ヒューム管	200mm	-	鋼管	300 mm	- m	0.028 m ³ /s	-	-	-	0.309 km ²
設計	計画	既設利用			既設利用			0.028 m ³ /s	-	-	-	0.309 km ²

1 洪水吐改修計画

該当なし

(1) 計画基準雨量

計 画 降 雨	観測機関名	-
	計画基準雨量	-
	計画根拠	-

(2) 計画洪水量

集水面積	直接	30.9	ha	合 計
	間接	-	ha	
計 画 洪 水 量	計 算 式	-		
	流 出 率	-		
	計 画 洪 水 量	-		

2 堤体補強計画

(1) 法面保護施設

二重鋼矢板工法により地震時における安定性を確保する。

(2) 漏水防止工

-

(3) 取水施設改修計画

	斜 樋	底 樋
現況	ヒューム管鉄筋コンクリート巻立 φ200mm	鋼管 φ300mm
計画	既設利用	既設利用

第5章 主要工事計画

第1節 老朽ため池改修施設

1 貯水池

(第24表)

名称	迫田大池				位置	江田島市能美町中町		
	型式	流域 (km ²)	堤高 (m)	堤長 (m)		堤頂幅 (m)	貯水量 (千m ³)	備考
堤体	均一型	0.309	8.2	125.0	15,600	3.90	21.5	
洪水吐	型式	洪水量 (m ³ /s)	規模 (m)	備考	取水施設	型式	取水量 (m ³ /s)	備考
	越流堰式	2.270	4.20	既設利用		(取水孔)	0.028	既設利用

2 堤体補強施設

(1) 法面保護施設

二重鋼矢板工法により地震時における安定性を確保する。

(2) 漏水防止工

-

第6章 付帯工事計画

-

第7章 工事の着手及び完了の予定時期

1 工事の着手及び完了の予定時期

着 手 令 和 8 年 4 月 1 日
 完 了 令 和 11 年 3 月 31 日

2 工 程 表

	全 体	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度	令和 12 年度	令和 13 年度	令和 14 年度
堤 体 工	342,000		202,500	139,500				
測 量 及 び 試 験 費	21,000	21,000						
用 地 買 収 補 償 費	1,000		1,000					
工 事 雑 費								
計	364,000	21,000	203,500	139,500				
百 分 率	100 %	6 %	56 %	38 %				

第8章 環境と調和への配慮

環境調査により、保護すべき種として8種(環境省・県準絶滅危惧種トノサマガエル及びミズコウジュ、県準絶滅危惧種カヤネズミ、県準絶滅危惧種コガネグモ及びアキイトスゲ、二ホンアカガエル、地域特徴種として、チャイロマメゲンゴロウ及びヒメアカネ)が確認されたが、今回の改修工法では概ね水位を維持し施工できることから、希少生物等への影響は小さいと考えられる。

駆除すべき種としてオオクチバス(環境省特定外来生物)が発見されたため、落水時に捕獲駆除を行い、下流への拡散を防止する。

第9章 事業費の総額及び内訳

1 総括表

区分	事業名	備	考
工事費	342,000	千円	
測量試験費	21,100 ≒ 21,000	土質試験費 7,600 千円 解析等調査業務費 1,900 千円 測量業務費 1,000 千円 実施設計費 10,600 千円	
機械器具費			
用地買収補償費	1,000	借地料・補償費 1,000 千円	
営繕費			
実施設計費			
工事雑費			
地方事務費	18,200		
計	382,200		

2 工事費内訳表

区 分	事 業 量	金 額	単 位 当 り 費 用	備 考
堤 体 工	103.0 m	342,000 千円	3,320,400 円/m	
		25,360		土工掘削、盛土 896 m ³ × 28,300 円/m ³
		211,210		鋼矢板 206 m × 1,025,290 円/m
		71,280		笠コンクリート 206 m × 346,020 円/m
		10,600		防食コンクリート 206 m × 51,460 円/m
		4,570		付帯工 199 m × 22,960 円/m
		18,980		仮設工 1.0 式 × 18,980,000 円/式
洪水吐工	- m	0 千円	- 円/m	m ³ × 円/m ³
				m ³ × 円/m ³
				m × 円/m
取水施設工	斜樋工 L= - m	0 千円	- 円/m	m × 円/m
				m × 円
	底樋工 L= m	0 千円	円/m	m × 円/m
				式 × 円/式
測量試験費	1 式	21,100 千円		土質調査業務 7,600 千円
		≒ 21,000 千円		解析等調査業務費 1,900 千円
				測量業務 1,000 千円
				設計業務 10,600 千円
用地買収補償費	1 式	1,000 千円		電柱補償 千円
				借地補償費 1,000 千円
				用地買収費 千円
工事雑費	- 式	- 千円		
事業費		364,000 千円		

第10章 効 用

(第27表)

事業名	項 目	年総効果(便益)額 (千円)	年増加農業所得額 (千円)	備 考
	区 分			
県営ため池等整備事業	食料の安定供給の確保に関する効果	△ 348	416	維持管理費節減効果(農業生産)
	農業の持続的発展に関する効果	4,331	2,192	災害防止効果(農業関係資産)
	農村の振興に関する効果	381,310	-	災害防止効果(一般資産)
	多面的機能の発揮に関する効果	10,215	-	災害防止効果(公共資産)
	計	395,508	2,608	令和7年度単価

〈 参 考 〉 総便益額(現在価値化) : 8,056,786 千円

第11章 関 連 す る 事 業

該当なし

(第28表)

区 分	事 業 名	事 業 主 体	受益面積(ha)	事 業 内 容

第12章 現 況 ・ 計 画 図 面

- 1 計画平面図
- 2 主要構造図